

国語科学習指導案

指導者 宇田 昭史

日時 平成24年12月1日（土） 第3校時（13：00～13：50）
年組 中学校第1学年2組 計40名（男子18名，女子22名）
場所 中学校第1学年2組教室
単元 名句をつくろう

本時の目標

二句一章の手法を用いて，完成度の高い作品を楽しく創作することができる。

「学びのつながり」の視点

五・七・五の定型にのせて言葉を選び，句作を行わせることが主眼となる第Ⅰ期を受け，俳句の作り方の一つを理解させた上で，ボキャブラリの限界を広げる支援をし，その手法に則った句作を行わせることは，短い表現の中にできるだけ大きな世界観をこめることを大切にして創作させる第Ⅲ期へつながる指導となるだろう。

学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点（◆ 評価）
1. 俳句の作り方について振り返る。 2. 本時の目標と学習方法を確認する。	○「二句一章」の手法について確認することに主眼を置く。
二句一章の名句をつくろう。	
【第1ラウンド】 3. くじの要領で与えられた季語と単語を組み合わせて俳句をつくる。 (1) シンキング・タイム ◇二つのことばに関する情景を想像する。 (2) 俳句をつくる (3) 完成したら挙手して発表する。 4. 3を再度繰り返す。	○パワーポイントのスライドショー機能を利用する。 ○全員で考える。 ○シンキングタイムではまだ句をつくるのではないことを指導する。 ○イメージがわきにくいと判断される組み合わせだった場合は、再度くじ引きを行う。 ◆楽しく創作を行っているか。 【国語への関心・意欲・態度】 ◆二句一章の作品を創作したか。 【書くこと】

<p>【第2ラウンド】</p> <p>5. 言葉カードを受け取る。 ◇言葉は、季語とその他の言葉で1セット。</p> <p>6. シンキング・タイム（3分） ◇二つのことばに関する情景を想像する。</p> <p>7. 取り替えタイム ◇どうしてもイメージがわからない場合、カード交換を申し出る。</p> <p>8. 作品をつくる。（5分） ◇完成したら挙手する。</p> <p>9. 数名が作品を発表する。</p>	<p>○裏向きに回させ、選ばず上から順に取るよう指示する。</p> <p>○二枚のカードは机の右前に置かせる。</p> <p>○ここではまだ句をつくるのではないことを指導する。</p> <p>○1回のみ交換を認める。</p> <p>○机間指導により、個別に支援する。</p> <p>◆楽しく創作を行っているか。 【国語への関心・意欲・態度】</p> <p>◆二句一章の作品を創作したか。 【書くこと】</p>
<p>12. 次時の予告を聞く。</p>	<p>○次時は創作と発表の続きを行うことを伝える。</p>